

# あいむ柏崎

— ひとひと 女と男 共につくる希望の未来 —

令和4(2022)年3月5日

第6号

発行 | かしわざき  
男女共同参画推進市民会議

寄稿

## 東京2020オリンピックを終えて

国際水泳連盟登録審判員で  
日本人女性初の東京五輪水球競技審判員を務めた

津崎 明日美 さん



2021年は私の中で待ちに待ったオリンピックの年でした。新型コロナウイルス感染症の拡大により1年延期となり、2019年11月にオリンピックの審判の発表があった日から、待つこと1年半以上。審判の私でさえとても長く感じた1年、選手はもっともっと大変だったことでしょう。

私が水球の審判資格を取得した当時は、東京にオリンピックが来ることが決まっており、男女共に出場権があるのに女性審判がないのでは強化に繋がらない、女性審判を育成しよう!という状況でした。たくさんの人に勧められたこともあり、それまで私の中でネガティブな印象だった審判の資格を少々取得、本格的に審判としての活動を始めました。審判として活動していく中で、私は女子の試合だけではなく、男子の試合も担当させてもらえる機会が多くありました。私を審判の世界に引き込んだ審判の方は、私を“女性”審判としてではなく、一人の審判員として指導をしてくれました。また、私の周りには国際審判として活躍している人やそれを目指して活動している人がたくさんいたこともあり、自然と私自身も国際審判を目指すようになりました。当時は女性の国際審判は日本には一人もいなかったのですが、そのことは私が国際審判を目指す上での障害にはなりませんでした。

2019年には目標としていた国際審判に選ばれ、さらにオリンピックにも選出されることができました。東京オリンピックでは世界中から選ばれた審判員が24名、そのうち4名が女性。比率的にはまだまだ男性が多いように感じられますが、男性の方が審判としての能力が高い人が多かった、ただそれだけのこと。

女性審判がまだまだ少なかった頃からずっと最前線で活躍し続けてきたスイスの女性審判の方は、私に、“もっと女性が活躍できる世界に変えていきたい、だから、辛いことがあっても頑張り続けてほしい。努力することを止めてはいけない。辛い時は支えてくれる仲間がいるから”とアドバイスをくれました。頑張り続けることは簡単なことではないけれど、頑張れる舞台がある以上、私は日本のトップ審判として活動し続けたいし、私にしか経験できなかったことを次世代の若者に伝えていきたい。世界で活躍する女性審判の大先輩たちの背中を追いかけてながら、後輩育成にも力を入れていきたいと思います。



東京オリンピックに参加した4人の女性審判員

## ～ままだって～「お母さんと作ろう チャレンジDIY」を開催しました

令和3(2021)年10月16日(土) 会場/株式会社 阿部建設

大工道具を使い、物を作るというのは、男性の仕事の観念があります。ままだってできる。今回は、株式会社阿部建設の大工さんの指導のもと、お母さんと一緒に椅子と花台を作るという講座を開きました。7組の親子がチャレンジしてくれました。

お母さんより、道具の使い方が上手な子もいて、それぞれの親子が椅子と花台を楽しく製作することができました。(報告/品田 信子)

丈夫そうなので長く使いたいです。

わかりやすく、親切、丁寧に教えていただきました。

親子で楽しめました!

下の子を夫にお願いしてきました。これも小さな共同参画ですかね?

弟、妹がいるので、是非また参加したいです。

## ～ぱぱだって～「お父さんと作ろう クリスマスケーキ」を開催しました

令和3(2021)年12月4日(土) 会場/柏崎市民プラザ

毎年、多くの親子に人気の講座です。今回は料理研究家の高橋みどりさんにお越し、感染症対策をして2年ぶりの開催になりました。37組の応募の中から抽選で6組12名の親子がケーキ作りを楽しみました。

参加者からは「ずっと楽しみにしていました。子どもに作る喜びを教えたいというより、私自身が調理経験ゼロで、行動しなければ始まらないと思ひ応募しました。」と嬉しい声も聞かれました。最初に(父から子へ)子どもの自慢できる場所、(子から父へ)お父さんの好きなお菓子を紹介してもらい、父子でお互いに意識し喜んでいました。協力して作ったクリスマスケーキは家に持ち帰りました。お互いを褒めてあげてほしいと感じました。(報告/大掛 隆)

子どもと楽しくできました!

家庭でもみんなで一緒に作りたいです。

子どもの成長にびっくりです!

父親でも子どもに調理を教えたいです。

## 私たちは柏崎の「ハッピー・パートナー企業」です

新潟県では、男女が共に働きやすく、仕事と家庭等の両立、女性従業員の育成や登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として支援しています。



### 笑顔溢れる福祉サービスの提供を目指して

社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会 群屋 194-1

当法人は、救護施設、特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、養護老人ホーム、ケアハウスなどを経営する社会福祉法人であり、約440人の職員全員が明るく元気に勤務しています。

「ともに笑い、ともに生きる」をキャッチフレーズにしており、この言葉には、御利用者や御家族、地域の皆さんの笑顔はもちろんのこと、その笑顔がもたらす「やりがいと喜び」を得る「職員の笑顔」も含まれています。

この笑顔溢れる当法人の職員は、大切な人「人材」であり、宝「人財」です。

当法人のサービスを利用される方々の笑顔と生活を守るため、職員という「人材」に対する投資を惜しまない方針の下、多様な学びの機会を設定し、資格取得など働きながらスキルアップすることで、その個性と能力を十分発揮できるような職員の育成を図っています。さらに、しっかりとフォローアップを行うことで、職員が安心して働けるよう支援しています。

また、それぞれの職種における適正な仕事量に配慮することで、男女を問わず、ワーク・ライフ・バランスのとれた働きやすい魅力ある職場づくりに努め、それをベースに「ともに笑い、ともに生きる」という福祉サービスの提供を実践しています。



理事長  
政金 克芳さん

### 社員の成長と働きやすい職場づくりへの取組

株式会社ユニテック 駅前 2-1-19

ユニテックは植木組グループの一員として1985年に植木組電算部が独立して設立され、現在は柏崎と東京(神田)に拠点を置き、社員82名(内女性12名)でソフト開発と建設会計パッケージの販売を主に行っている会社です。

弊社はおお客様の課題をITで解決するお手伝いをしているため、課題解決技法・プログラミング開発技法そしてコミュニケーション能力はどうしても必要なスキルとなります。そのため、スキルアップ制度、通信教育奨励、資格取得奨励、研修制度は充実させています。

そして、スキルアップ面談、自己申告面談も行っており、社員の成長と社員の希望が叶えられるような職場作りに取り組んでいます。

また、テレワークの導入、時差出勤、フリーアドレスの事務所に改善と働く環境の改善にも取り組みました。

弊社は、女性の割合が少ない会社ですが、仕事内容は男女問いません。

「育児・介護休業制度」、「母性健康管理規定」等も周知して、女性社員も長年勤務し活躍してもらっています。男性、女性関係なく活躍でき、そして長く勤められる働きやすい職場環境をこれからも作っていきたくと思っています。



代表取締役  
植木 豊一さん

## 女性が初めて投票した日

昨年秋の衆議院議員総選挙は記憶に新しいところですが、投票所には夫婦そろって来る人や赤ちゃんを抱っこするお母さんなど様々な姿が見られました。近年では珍しくない光景ですが、75年前に遡ってみると、決して当たり前ではなかったようです。

昭和21(1946)年4月10日に行われた戦後初の衆議院議員総選挙は、初めての婦人参政権を行使する選挙として注目され、全国で39名の女性代議士が誕生しました。それに先立ち3月に結成式を挙げた新日本婦人同盟会柏崎・刈羽支部は、田中キン、桑野シズ、和田いせ、曾田くら、巻淵茂子らが中心となり、女性が投票しやすいよう県や市町村長に対して請願を行っています。

投票所に女性が入りやすくすること。できれば入口を男女別にする。名簿引合従事者や投票立会人に女性を加えること。選挙当日は女性が外出しやすくすること。投票所付近に臨時託児所を設けること。赤ん坊を背負って入場できることを女性に周知すること。当日一切の配給を中止して前日に繰り上げる。こうした内容が請願に盛り込まれました。



投票に来た女性たち  
昭和27(1952)年 衆議院議員総選挙 柏崎市第一区投票所  
写真:柏崎市立図書館所蔵

選挙当日は、羽織やモンペ姿の女性たちが列をなしました。また、選挙が自由公正に行われているかを監視するために占領軍中尉が来柏しました。投票所へ向かう60歳くらいの女性に、「投票を誰かに依頼されたか」「投票の責任や義務が重荷ではないか」と質問すると、「私は自分の信念に基づいて投票します。婦人が解放され、自由意思で投票する。婦人の地位向上にとってこれほど嬉しいことはありません」と答えたといいま

す。女性と政治について論じられるとき、女性政治家の数や比率が注目されがちですが、政治参加の形は多様です。どんな声を、どんな形で表現するのか。当時の女性たちの気持ちを想像しながら、自身の言動を振り返る今日この頃であります。

(協力/早川 美奈子さん)

### 会員募集!

#### かしわざき男女共同参画推進市民会議

女性も男性も生き生きと輝く社会を目指して、一緒に活動して下さる方、支援して下さる方を募集!

##### 活動内容

- ・学習会・研修会(労働、人権、まちづくりなど)
- ・イベント(子育て支援、父親の家事・育児など)
- ・啓発事業(公開講座など)
- ・広報誌発行(あいむ柏崎/年2回)

年会費/1,000円(個人会員)  
3,000円(法人・団体会員)

##### <問い合わせ先・申し込み先>

事務局:柏崎市人権啓発・男女共同参画室  
〒945-8511 柏崎市日石町2番1号  
TEL0257-20-7605 FAX0257-22-5904  
Eメール:danjo@city.kashiwazaki.lg.jp

### あしがき



家事や育児の負担について見直しきっかけにさせていただくためのリーフレット『家事をシェアしてハッピーに!』が、なかなか好評のようです。家族で話をする事から、地域活動、そして職場での様々な気づきにつながるとよいと思います。

昨年来、中止続きだった様々な行事も、人数制限はあるものの徐々に開催され始めています。柏崎に少しずつ活気が戻りつつあることが嬉しいです。

(I・T)

### こちらからご覧いただけます

— 柏崎市ホームページ —

市民会議  
会員募集



あいむ柏崎  
バックナンバー

